

年 組 名前：

富士吉田市 チャレンジデー参加  
図書館内で「聖火リレー」



手作りのトーチを手に館内を駆け回る子どもたち。富士吉田市立図書館

15分以上続けて運動した住民の参加率を自治体別に競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団が主催)が10月27日、全国各地で開催され、山梨県内からは富士吉田市が参加した。同規模の自治体ごとに対戦方式で、京都府京丹後市と対戦。富士吉田市は鐘山総合体育館のトレーニングジムや鐘山スポーツセンターを無料開放したほか、早朝のウォーキングや、オンラインを活用したヨガの講座などを実施した。市立図書館では、「としよりんピック」と称して東京五輪の競技種目を模した運動コーナーを設けた。参加者は手作りの聖火トーチを手に館内を駆け回るなどして運動に親しんだ。

この日は2万6000人が参加。人口対しての参加率は46・8%となり、京丹後市の39・4%を上回り勝利した。市生涯学習課の梶原明彦課長は「スポーツや運動を習慣化する機会になってほしい」と話していた。

問1

全国各地で開かれた「チャレンジデー」とは、

どのようなイベントですか。

(2021年11月5日付 山梨日日新聞 20面)

問2

県内から参加した富士吉田市で行われた種目や講座内容などを3つ挙げてください。

- .....
- .....
- .....

問3

富士吉田市は「チャレンジデー」イベントで京都府の京丹後市と対戦しました。住民の参加率が

①%であった②市が勝利しました。①、②に入る数字、言葉を書いてください。

①「 %」 ②「 市」